

平成28年度

盛岡ペットワールド専門学校

自己点検・評価委員会結果報告書

平成29年3月

平成28年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館盛岡ペットワールド専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

平成29年3月
学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤正美

1. 学校の教育目標
「人と動物のより良い関係づくり」「ペット業界において真に活躍できる人材育成」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
(1)教育内容(実践型授業の強化、専門授業強化における教員の指導力向上)
(2)学生支援(学生のキャリアパスにおける支援内容の体系化の実現)
(3)社会的活動

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
評価理由と改善策	本校の運営における理念である「人と動物のより良い関係づくり」「ペット業界において真に活躍できる人材育成」について、それに伴った取り組みを行うとともに、実践的な内容を常に取り入れるよう努めている。その内容を外部に向け、さらに発信していく。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
評価理由と改善策	施設環境・教育内容・学生募集・教員研修・地域社会との関連・その他項目について、年度ごとの事業計画を策定し、法人本部との連携を図りながら運営している。情報公開も即時行うよう努めていく。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
評価理由と改善策	常に業界ニーズに対応できるよう研修、指導力育成についても率先して取り組んでいる。検定試験の合格率の向上につなげた。事業所でのインターンシップと、企業と連携してのペット参加型イベントの企画・運営とを学生の成長の場と位置付けて取り組むことで、大きな成果を得ている。 今後も外部関係者の意見を取り入れ、継続的に更なる人材育成に努めていきたい。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	3
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
評価理由と改善策	就職・資格取得実績は年々高まっている。今後とも全員の内定を目指すことはもちろんであるが、同時にその内定先で長く活躍し、業界発展を担う人材を育成するよう邁進していく。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
評価理由と改善策	卒業教育の実施について回数を増やすなどすることで卒業生の業務スキルを挙げる支援を行うよう努める。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
評価理由と改善策	現場における分野ニーズに対応するよう施設・設備の改修を行っている。防災に対して避難訓練を実施する中で、動物と同行しての訓練を行い、実際の動きや求められる危機管理ポイントを確認しながら実施している。学校動物はもちろんのこと、実習時に外部からのモデル犬が多数いる場合も想定した訓練を実施している。海外研修についても更なる充実を図り多くの知識が吸収できる環境を整える。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	3
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
評価理由と改善策	動物分野に関心がある対象者に向けて有益な情報を伝えることができた。在校生の成長や就職先での卒業生の活躍・評価の高さなど、本校の教育成果についての理解も年々高まり、募集活動における手ごたえも実感できるようになってきている。今後も、より広く分かりやすく成果を伝えるための工夫に努めたい。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
評価理由と改善策	法人本部で適正に管理・実行しており、財務情報については既にホームページでも情報公開されている。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
評価理由と改善策	個人情報の保護にかかわる文書を保護者宛てに確認するなど管理について徹底させている。自己評価について、昨年度より学校関係者評価委員会の結果と併せてホームページでの公開を開始しており、今後も適正に行っていくこととしている。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
評価理由と改善策	動物愛護等業界団体運営のイベントに積極的に参画している。動物分野の啓蒙活動のみならず、地域貢献・活性化を図るための活動を継続的に実施していきたい。	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校を運営する中で必要となる改善内容について対応するよう努めた。今後も教職員一同、学生の成長、学校および動物業界の発展のために質の高い教育を提供していきたい。

盛岡ペットワールド専門学校 学校関係者評価委員会 議事録

(開催日) 平成28年8月9日(火) 14:00~14:45

(開催場所) 盛岡ペットワールド専門学校 401教室

1. 出席者

委員長	株式会社 マルカンペット	代表	村上 肅
副委員長	岩手大学動物病院	院長	佐藤 れえ子
	さくらんぽっこ		佐藤 丈嗣
	盛岡ペットワールド専門学校	事務局主任	清川 裕司
	盛岡ペットワールド専門学校	事務局	白川 優佳

2. 委員会次第(概要)

- (1) 開会
- (2) 委員長挨拶
- (3) 議題「昨年度自己点検・評価について質疑」
- (4) その他
- (5) 閉会

3. 討議・意見交換について

本校の教育理念・目標について説明を行った後、「専修学校における学校評価ガイドラインを踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価結果について、評価項目ごとに達成状況や取り組み状況、改善対策等について、外部委員の皆様と意見交換した。

(1) 教育理念・目標について

外部委員より、教育理念については明確で、委員に対しても周知はできているが、目標が定まらない学生も見られるため、学生への周知を徹底し、目標を明確にさせるためのさらなる仕組みづくりを検討したらどうかという意見があった。これに対し、学校として目指すべき育成したい学生像を明確にし、学生に伝えられるような体制作りを行うこと、専門分野以外の授業への興味を深められるような授業構成の再検討を行うと回答した。また、学生の性質も多様化しているため、1人ひとりに合った指導を行うことを約束した。また、学生指導上、保護者の理解をいただくことで学生の支援に大きく影響するため、保護者への情報発信も継続していくと回答した。

(2) 学校運営について

業務の効率化に関する取組を説明し、細かく内容を確認いただくなかで、さらなる効率

化が可能ではないかとアドバイスをいただいたので、引き続き効率化を図ると回答した。

(3) 教育活動について

業界ニーズに対応できるよう、校内のみならず、事業所でのインターンシップ実習、校外活動を実施していることについて評価いただいた。教員の指導力強化も推進しており、研修も率先して取り組んで旨お伝えし、今後も継続的にこなしてほしいとの意見があったため、より実務に即した内容を提供するために外部での教育の機会を増やしていくと回答した。

(4) 学習成果について

就職率、資格取得実績は年々高まっていることをお伝えする。授業に関しても学生アンケートを取りながら、満足度を高めるよう努めていることについて高い評価をいただく。退学者については、減少していることを報告した。退学理由について質問があったため、進路変更については担任との面談等のフォローで継続して在学するケースが多いが、家庭の事情や経済的事情については学校としてのフォローが難しい面もあり退学に至ると説明した。

(5) 学生支援について

卒業してからは、事業主の考えにもより勉強の場が限られているため、獣医師会とも協力し、勉強の場を作る必要があるのではないかと意見をいただき、今後さらに連携を図り実習の場を設定すると回答した。学生支援に関する支援体制は整備されている。卒業生を対象に行っている卒後セミナーについて、開催に望ましい時期をこちらから委員に伺った。委員からは繁忙期は避けてほしいが、事業所によって繁忙期は異なるので一概に時期を指定するのは難しいとの意見があった。そのため、学校で時期を検討し、何度かセミナーを開催したうえで、再度時期を検討すると回答した。

(6) 教育環境について

学校のセキュリティ対策も大切であるとアドバイスをいただき、校内に防犯カメラを設置していることを説明した。

(7) 学生の受け入れ募集について

学校を周って学生募集の説明会を行っているかとの質問があった。北東北中心に、業者が仲介を行う形での説明会に参加しており、業界の発展にもつながるよう、今後も地道に学生募集を行っていくと回答した。

(8) 財務について

財務に関して、法人本部と連携を図り、問題なく取り組んでいることについて、外部委員より了承をいただいた。

(9) 法令順守について

法令順守について、法人本部と連携を図り、問題なく取り組んでいることについて、外部委員より了承をいただいた。

また、本校ではモデル犬制度を導入した実習を行っているため、個人情報の取り扱いについて教員だけでなく、学生を含め、正しい取り扱いができるよう努めていると説明した。

(10) 社会貢献・地域貢献について

ストレス社会と言われる現代、動物の人を癒す能力が必要とされているため、対外的な活動を率先して学生が行ってほしいという意見があった。これに対し、学生が参加した地域のイベントの際に、署名活動や愛護団体の紹介を行った旨を説明し、今後も地域との密接な関係づくりに努めたいと回答した。

4. まとめ

外部委員の皆さまより貴重なご提案、ご意見をいただける機会になった。ご提案いただいた内容について、教職員にフィードバックし、教職員一人ひとりが主体的により良い学校運営に取り組んでいくことを確認し、閉会とした。

以上